



省エネ断熱建材・快適玄関ドア改修

改修用スチール玄関ドア

境界部(共用部)

既存マンション
省エネ改修のご提案

もっと詳しく知りたい方はコチラ!

部	省エネ改修メニュー	参考商品取り扱い企業名	問い合わせ	ホームページURL
境界部(共用部)	改修用スチール玄関ドア	株式会社LIXIL YKK AP株式会社	TEL:0120-126-001(お客様相談室) TEL:0120-72-4134(お客様相談室)	http://tostem.lixil.co.jp/ http://www.ykkap.co.jp/search-b/

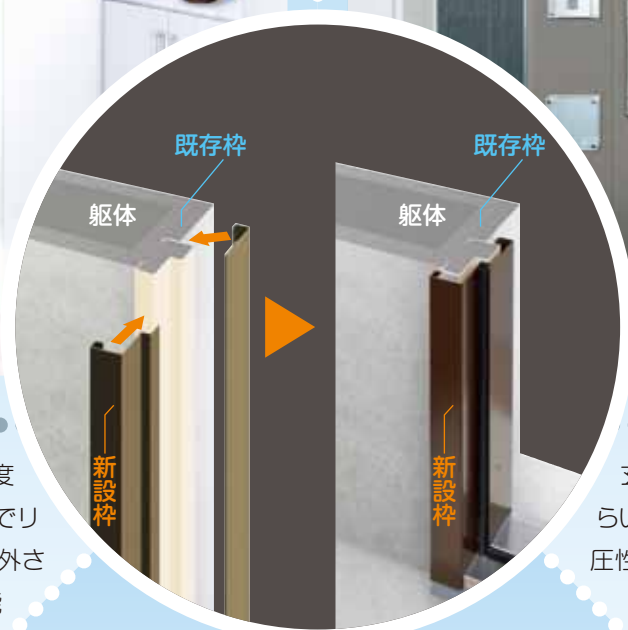
『改修用スチール玄関ドア』ってなあに?

断熱、遮音、気密性はもちろん、防犯性も向上できるスチール製の改修専用玄関ドアのことです。

改修用スチール玄関ドアを取り付けるとどうなるの?

開閉がスムーズで防犯性の高いドアを、既存の枠を活かして取り付けられます。

気密性が高まり、断熱効果も、室内の快適性が向上します。



利便性

古くなった玄関ドアは、たった半日程度の時間で取り替える「カバー工法」でリニューアルできます。既存の枠を取り外さずに新しい玄関ドアの取り付けが可能です。壁を壊さずに工事するため、騒音、粉塵の発生が少なく、短時間で工事が完了します。

経済性

補修、部品交換よりも玄関ドア改修の方が断然お得です!

省エネ効果も配慮したさまざまな玄関ドアは、デザイン性も高められています。美しい外観イメージを演出し、住まいの資産価値を高めます。また、塗装や部品交換などの補修では、あくまで“建築当時の初期性能を維持”するレベル。経年劣化により、部品交換するメンテナンス頻度が増し、思いのほか費用がかさむ可能性もあり、玄関ドアを改修した方がお得です。

カバー工法

既存の枠を取り外さずに新しい玄関ドアを取り付ける工法です。既存の開口部より約2cm狭まるだけでリニューアルできます。



①現場養生・既存扉の撤去・防サビ処理 ②下地補強・新規枠取り付け ③扉吊込み・金物取り付け・建て付け調整 ④シーリング

快適性

玄関ドアも30年前の初期性能は防火くらいのものでした。現在の初期性能は耐風圧性、気密性、遮音性、防火性、断熱性、耐震性、防犯性などが飛躍的に向上。住まいの快適性を入口から支えます。

30年前の初期性能より機能、意匠性は大きく向上。その差は歴然です。



玄関ドア【高経年マンションと最新との比較】

	30年前の初期性能	現在の初期性能(新築)
耐風圧性	S-6 (2800Pa)	S-6 (2800Pa)
気密性	-	A-3 (8等級線)
遮音性	-	T-1 (25等級線)
防火性	旧甲種防火戸	特定防火壁備(旧甲種防火戸)
断熱性	-	H-2 (0.246-K/W以上)

省エネになる原理

改修用スチールドアは、両面フラッシュ構造の扉とエアタイト構造枠により、すぐれた断熱性能を発揮します。室外への熱損失を抑え、冷暖房負荷を軽減。省エネ効果を高めます。

サッシ+ドアで
約11%
年間の光熱費を
節約

導入時の注意点

玄関ドアを改修すると気密性が高くなります。玄関ドア改修の際には、換気計画も同時に検討してください。

【ご注意ポイント】

- 換気扇などの換気装置の給気経路がなくなり、十分に換気できない場合があります。給気経路の確保が必要です。
- 換気装置を動作させると玄関ドアに圧力がかかって勢いよく閉まったり、開くときに重くなったりする場合があります。

【おすすめポイント】

- 玄関ドア改修により玄関周りの断熱性の向上が図れます。さらに外部に面している壁面の断熱化(内/外断熱改修)を行なうと効果が大幅に上がります。

玄関ドアの改修で、快適生活が始まります。

省エネ性

両面フラッシュ構造の扉とエアタイト構造により優れた断熱性能を確保。室外への熱損失を抑えて、冷暖房負荷を軽減し省エネに寄与します。

性能の向上

気密性・遮音性
優れた防音性能により、騒音や隙間風をシャットアウト。現在の新築同等の性能確保。

防火性
平成12年建設省告示、第1369号該当の特定防火設備(旧甲種防火戸)。

耐震性
建物変形対応仕様は、地震でドア・枠が変形しても、扉がスムーズに開放でき、容易に脱出可能。

防犯性

耐ピッキングシリンダー
耐ピッキング性に優れたシリンダー。

サムターン回し対策錠
通常の使用方法以外ではサムターンによる解錠が困難です。

鎌デッド錠
扉先側の鎌型デッドボルトが外側からドアを守ります。

面材攻撃対策仕様
表面材は補強板を内張りした二重構造。
※それぞれ選択となります。

経済効果はどのくらい

玄関ドアは、毎日の開け閉め時だけでなく、隙間風や音漏れなども気になるところ。こうした点が経済性につながっていきます。気密性により、室内の温度を保ち、断熱性を高めることで結露を防止。これらの相乗効果で経済効果を生み出しています。